

突撃!!
インタビュー
コーナー

社員が健康で安定してないと、リフォームで家族の健康と
幸せを提案できない!

株式会社キタセツ (東京都大田区)

北川 拓 代表取締役社長に、「社長自らの社員ランチづくり」「健康経営」「BLR所得サポート制度新規加入」について、ランチづくりからお邪魔し、インタビューをさせていただきました。

社長の社員ランチづくりは、なんと
3年前より毎日!キタセツ・サラメンだ!

Q. ランチづくりは、いつからどんな動機からですか?



北川社長、エプロンお似合い!
この日は、麻婆豆腐をフライパンで4回も作られる。

3年前の5月から社員のランチづくりを始めたのですが、近くにランチをやっている店が少なく、社内で昼食をとる社員がほとんどでしたが、カップ麺やコンビニ弁当が多くて野菜摂取が少ない状況で、「健康に良くない!」と思っていました。そんな時、3年前の3月にテレビ東京の「カンパリア宮殿」で、福井県の地域密着型コンビニ・大津屋で人気の「13種類以上の“できたて惣菜”」を知りました。その通販用総菜は、添加物を使わずに1か月間も持つということを知り、購入し3分湯煎し、ごはん、みそ汁、サラダも用意して、5月よりランチ提供を始めました。その後、総菜にも飽きがきたようなので、納豆に替えました。ただ、たんぱく質がないのが寂しいとの意見があり、半年後からは、鶏の唐揚げなどのたんぱく質がメインのおかずを追加していきました。

Q. ランチメニューはどのように決められ、どのように準備されているのですか?

朝、クックパッドを見て、その日のメニューを自分で決め、10時30分に近くのスーパーに歩いて行き、食材を両肩にしょって、料理教室にも使える4階キッチン&食堂に11時頃上がります。そして、メインのおかずづくりから始め、11時20分頃に、清水さん(女性)に手伝いに来てもらい、みそ汁、サラダづくり等を手伝ってもらいます。12時には、手の空いている人に、納豆づくり(ネギ、からし等入れ)や食器出しなどを手伝ってもらいます。そして、12

時には、社員が順次集まり、自分で好きな量をトレイなどに取って食べ始めます。食器洗いと後片付けは、当番制です。尚、私の不在時は、遠藤常務に私の代わりをしてもらっています。「健康でないと良い仕事はできない!」との思いで、ここまでランチづくりをやってきましたが、社員にも好評です。そして、社員間のコミュニケーション促進効果は、とても大きいです。女性社員の方にインタビューすると、「その日の体調に合わせて好きな量を選び、今日みたいにごはん抜きもできます。野菜の種類も多く、とても感謝しています。」「弁当準備の手間も省け、野菜も多く健康的で、お財布にもやさしく、本当に素敵で嬉しいランチです。」とのことでした。

Q. 「健康経営」への取り組みを開始されておられるようですが、どのような取り組みなのか教えてください。

現在、経済産業省が推進している「健康経営優良法人認定制度」^{※1}の「中小規模の企業部門」で申請しています。今年の具体的な健康経営への取り組みとして、専門の方によるニューロコーチを、社員に月1~2回受けてもらっています。ニューロコーチとは、脳波を活用した脳のトレーニング方法で脳の健康状態を知ることができる他、正常に戻すことが出来ます。頭の中もスッキリさせ集中力を高める効果があります。また、毎週木曜日には整体師の方に1人20分ずつマッサージと電気の施術をお願いしています。また、社内には元スポーツジムのインストラクターの社員もいるので、その社員を中心に社内で体を動かすこともあります。現在、制度への申請では、国民健康保険組合の審査は通過し、今後、経済産業省の審査を受けることとなります。

健康でなければ気持ちも乗らないし仕事にも集中できないので、お客様満足の仕事をするには、健康であることが最低条件だと思っています。そのために会社ができる事をやるべきだと思い、ランチづくりに加えて、取り組みを始めています。

※制度解説: 2016年に創設され制度で、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる。

BLR所得サポート制度ご加入

Q. BLR所得サポート制度に、加入いただきましたが、その動機は何でしょうか?

最初は、そのような制度自体を知らず、事務局から説明を受け、良い制度と思い加入を決めました。社員自身が心身共に健康で安心して生活ができ、仕事ができる環境づくりが必要だと考えているので、福利厚生として加入を決めました。また、「生涯雇用」の考えが社員にもあり、この制度は、それに繋がると思いました。保険料は、全額会社負担で、本日、社員に制度説明をします。

Q. 今後の生涯雇用課題は、何でしょうか?

女性が多い職場ですが、まだ、育休取得事例がなく、今後、女性が生涯働ける職場づくりを目指したいと思っています。

本日は、手づくりランチまでご馳走になり、ありがとうございました。 <取材: 前川、坂本>



本日のランチです。具沢山みそ汁もあり。
これに、定番の納豆、卵等も用意あり。



社員は、キッチンカウンター上の料理を盛り付け。



ランチを食べながら、女性担当がテーブルに書類を置いて、仕事の相談をしている様子。

地域会員
紹介
コーナー

関東

株式会社キタセツ様の「住まいの性能向上リフォーム」の基本
「断熱リフォーム」への積極提案事例紹介

株式会社キタセツ(東京都大田区)

9月12日に、北川拓代表取締役社長、遠藤祐司常務取締役、鈴木多佳子主任に、キタセツ様の断熱リフォームに関するお客様への提案方法についてお伺いしました。

キタセツ様の顧客対象は、車で30分以内に絞り、大田区、品川区の全域カバーをされていますが、OB客比率70%で、紹介と新規で30%とのことでした。そして、OB客には、2ヵ月毎に情報誌『しあわせ色』を送付されていますが、その8月号の表紙に、マンション全面リフォームでの「風のないエアコン・光冷暖で心地よく健康な暮らしを。」とのタイトルで、「光冷暖システム」の施工事例を大きく紹介されています。

Q. 「光冷暖システム」を積極提案されておられますが、その背景と理由を教えてください。

「もっとお客様が満足していただける家とは、どんな家だろう?」と以前より考えていて、「夏は涼しく冬温かい、断熱性能の優れた家だ!」と思うようになり、いろいろ勉強し、風のない「ヒートポンプ式光冷暖システム」を導入した高気密・高断熱リフォームの提案を、5年前より積極的に行うようになりました。

<システム概要>

- 最大特徴は、送風も音もなく、ホコリやウィルスが舞い上がらないやさしい空調。
- 冷水10℃、温水45℃での冷暖放射方式、機器約120万円。
- 冷房時は、結露水処理が必要だがマンションではドレンアップでOK。



情報誌: しあわせの色・8月号表紙



光冷暖システム(奥様背面ブラック色部分)を実際に導入されたお客様宅では、とても好評!

- 壁や天井の表面に熱吸収・放出に有効なセラミック加工を施した漆喰を塗り、輻射パネルにより体感温度コントロール。夏は、壁・天井より熱を奪う。
- 部屋を高気密・高断熱にしないと使えないシステムで、断熱リフォームとなる。
- 床は、桐材を勧め、冷たさを緩和。
- 夏、冬は、基本24時間運転で、立ち上がりは5時間必要。

以前は、温水床暖房を快適暖房として提案していましたが、夏はエアコンとなってしまい、年間通しての快適空調の提案に至らなかったです。

Q. この光冷暖システムを導入したモデルハウスを最近オープンされた目的は?

JR大森駅近くに、「断熱体感モデルハウス」を今年の7月にオープンさせました。築50年の家を改装し、断熱性能も含めて「昭和」「平成」「令和」の部屋を体感比較できるようにしました。サーモグラフィカメラも設置し、部屋全体の温度分布をビジュアルに見えるようにしました。令和の部屋では、「エアコン」と「光冷暖システム」をそれぞれ比較できる部屋も用意しました。

モデルハウスオープンの目的は、お客様には断熱の知識なく、こちらから提案しないと興味を持ってもらえませんが、実際の体感比較により断熱の必要性を実感されます。予約制ですが、お客様に断熱の違いと、空調の違いを実感していただき、提案した空調システムを理解していただくことは、とても重要で、他社差別化にも繋がります。



住所: 東京都大田区
創業: 1988年11月
会社設立: 1990年7月
事業内容: リフォーム專業
従業員: 32名

モデルハウスオープン前も「光冷暖システム」を会社1階のリフォームサロン、2階事務所の2ヵ所の会議室、4階料理教室兼社員食堂にも設置し、その良さを社員にまず実感してもらい、自信を持ってお客様にも提案、実感してもらえるようにしていました。

Q. その他の断熱リフォームと光冷暖システムの提案ツールは?

社員が編集した『「気づこちの家」高断熱・高気密リフォーム』のA5冊子、リフォーム事例集のA5冊子などを用意し、お客様に断熱リフォームを積極提案しています。

消費税引上げ前と台風15号被害でお忙しい中、貴重なお話をいただき、ありがとうございました。<取材: 坂本>



断熱体感モデルハウスの案内チラシより